



六桜花

やさしく かしく たくましく
～未来を創造的に生きる力の育成～

有田市立
初島小学校
(校長室だより)

R7・12・5

No.62

自己肯定感を育てる

小学生に自己肯定感(自尊感情)を育てるためには家庭や学校での大人の接し方や声かけがとても重要になります。

※自己肯定感を高めるための接し方・声かけ 努力やプロセスを褒める

結果だけでなく、挑戦したこと、頑張った過程、工夫した部分を具体的に認め、「昨日よりうまくなったね」「努力しているね」と声をかけましょう。失敗しても責めず、挑戦した事実を褒めることで、挑戦心が養われます。

小さな成長や良いところに気づいて認める
他者と比較せず、子ども自身の成長した部分を認めましょう。スモールステップで達成できる小さな目標を設定し、成功体験を積み重ねることで自信につながります。

感謝の気持ちを伝える

お手伝いや、兄弟に優しくした時など、ささいなことでも「ありがとう」と伝えることで、「家族の役に立てた」と実感し、自分の存在意義を感じることができます。

愛情表現を惜しまない

ハグなどのスキンシップや、「大好きだよ」「あなたのことが大切」といったストレートな愛情の言葉を伝えましょう。無条件に受け入れられているという安心感が、自己肯定感の土台になります。

話を聞き、意見を尊重する

子どもの話を否定せずに最後まで真剣に聞くことで、安心感を与え、「自分のありのままを認められた」という経験になります。また、意見を求めたり、選んでもらう機会を作ることも大切です。

ポジティブな声かけを意識する

「今日は何が楽しかった？」など、自然とポジティブな答えができるような質問を心がけましょう。

※気を付けたいこと

一方的に怒ったり怒鳴ったりしない
人格を否定しない
他の子どもと比較しない
逃げ道のない正論で責めない

※短絡的に甘やかすわけではありません

※環境や経験を通じた育成

役割を与える

日常生活の中で、家庭内での役割(お手伝いなど)を持たせ、「家族の一員として必要とされている」という感覚を育みます。

自然体験や文化に触れる機会を増やす

自然の中での遊びやキャンプ、読書、芸術などに触れる機会を多く作ることで、好奇心や創造性を刺激し、視野が広がります。

子ども自身が「自分は大切な存在だ」「自分には価値がある」と思えるような関わりを積み重ねていくことが重要です。

自己肯定感がなぜ必要かという・・・

自己肯定感が**個人の精神的な健康、社会的な適応、そして自己実現の基盤**となるからです。日々の生活の中で、子どもの自己肯定感を高めていけるように接し方と声かけを考えていきましょう
(*^o^*)

